

市長から市民のみなさんへ

79

山陽小野田市長 白井 博文

75歳以上の方

敬老お祝いセールをご利用ください

9月の敬老の日にちなんで今年も敬老祝事業を実施します。昨年同様、85歳、95歳の節目の年齢を迎えられた方と100歳以上の方には「敬老祝カード」をお届けします。また、市内の事業所で特典、サービスが受けられる敬老お祝いセールの対象を今年は75歳以上の方に拡大しました。協力店一覧の表をご覧になって、ぜひご利用していただければと思います。参加を快諾いただいた事業所のみなさまにはこの場を借りて感謝を申し上げます。市をあげての敬老祝事業が商業振興にも結びつくことを期待しています。

オーストラリアから元気に帰ってきました

8月中旬までの約2週間、姉妹都市モートンベイ市でホームステイしていた中学生が無事帰国しました。彼らの体験記を4ページからの記事で掲載していますので、ぜひ、ご覧ください。同時期に友好訪問団の一員として同市に滞在していた私も、派遣生が通っている現地の学校で彼らが明るく、元気に過ごしている様子を見学する機会がありました。まさに体いっぱい異文化を吸収しようと奮闘している姿はたいへん頼もしく映りました。

私たち7人の友好訪問団も8月4日から1週間の日程でモートンベイ市を訪れ、当地で歓待を受けました。

対話の日

【いずれの会場も19:00から】



9月11日(木)郷自治会館
9月25日(木)沖部公会堂

旧レッドクリフ市は人口約5万人だったのですが、合併して誕生したモートンベイ市は約30万人の都市、また面積も市の北の端から南の端まで、車で通り抜けるにも2時間はかかるほどの広さです。旧レッドクリフ市出身の新市の市長はたいへん気さくな人で、偉ぶることなく、視線を常に市民に置いている印象を受けました。

青い海、青い空、季節は冬でしたが気候も温暖でまさに保養地にはぴったりの素晴らしいところでした。ただ肌に突き刺さる強い太陽光線は、地球環境の変化が引き起こしているのではないかといささか懸念を抱きました。

環境問題といえば、最後に資源ごみの売却額が増加していることについてお知らせします。広報1日号でその額は掲載しているところですが、平成20年度は4か月間で早くも約3千3百万円の収入となっています。市民のみなさん、一人ひとりのごみ分別の心がけが市の歳入の大幅増にも結びついています。厚くお礼申し上げますとともに、10月からはじまるごみ処理の有料化についても引き続き、ご理解ご協力をよろしくお願いします。

生活改善・学力向上プロジェクト

児童・生徒と先生方の"がんばり"が表彰されました

「読み書き計算の徹底反復」「早寝・早起き・朝ごはん」を実践の柱としている本市の教育改革「生活改善・学力向上プロジェクト」が児童、生徒の学力向上に成果を上げたとして日本教育再興連盟から表彰されました。表彰式に出席した江澤教育長は、「山陽小野田市の子どもと先生方の"がんばり"に対して与えられたものであり、関係者の方々に深くお礼を申し上げます」と受賞の喜びを語りました。



▲プロジェクトの導入から2年半。一定の成果が評価されました。